

## 令和7年度 第2回神栖市総合教育会議議事録

1 日 時 令和8年2月6日（金曜日）午前10時～

2 場 所 神栖市役所3階 庁議室

3 出席者 木内 敏之 市長  
沼田 実 副市長  
木之内 英一 教育長  
本間 敏夫 教育長職務代理者  
井口 久恵 教育委員  
鈴木 伸洋 教育委員

### 事務局職員

教育部長  
教育委員会次長  
秘書課長  
教育総務課長  
第一学校給食共同調理場長  
第一学校給食共同調理場副場長  
第一学校給食共同調理場栄養士  
第二学校給食共同調理場長  
第三学校給食共同調理場長  
教育総務課担当職員（2名）

4 欠席者 井上 剛 教育委員

5 傍聴者 なし

### 開 会 10:00

#### ○教育総務課長

定刻となりましたので、神栖市総合教育会議を開催いたします。

神栖市総合教育会議設置要項第4条により、市長が議長になりますことから、会議の進行をお願いしたいと思います。それでは市長、よろしく願いいたします。

#### ○市長

改めまして皆さんおはようございます。今日はよろしく願いいたします。

それでは、ただいまから令和7年度第2回神栖市総合教育会議を開催いたします。

本日の議題は、学校給食費の適正なあり方についてでございます。

近年、給食食材の価格は物価高騰の影響を受け、大きく値上がりをしております。一方、現在の当市の学校給食は、近隣他自治体に比べ低く設定されておりますことから、現在、改定について検討を進めているところでございます。

本日のこの会議では、皆さんの活発なご意見を学校給食費改定に向けての判断材料とさせていただきたいものと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは初めに、事務局から、学校給食費適正なあり方について説明をお願いいたします。

#### ○第一学校給食共同調理場長

学校給食費適正なあり方について、給食提供にかかる費用、学校給食費とその推移、他自治体との比較、物価高騰の状況、国の動向、見直しが必要な理由、これまでの検討経緯、給食費改定案、検討課題等について、資料をもとに説明する。

#### ○市長

ただいま事務局の説明がありましたが、学校給食費の適正なあり方について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

#### ○教育委員

運営委員会委員は何人で、どういう立場の人が参加して協議したのか教えてください。

#### ○第一学校給食共同調理場長

運営委員会委員は、学識経験者として市学校歯科医、市学校薬剤師、消費者の会会長、各学校のPTAの会長や副会長が5名、学校教育関係者として学校長や園長が5名、給食主任が4名の合計17名です。

#### ○市長

後で名簿を出してあげてください。

その他に何かございますか。

#### ○市長

令和8年度、実は給食費については無償化ということで、国からもらった臨時交付金を利用して、保護者負担分についてはそちらの方で措置するようにいたしますので、令和8年度の、私がおそらく市長をやっている時には、この負担分はそのまま継続しようと思っております。そういう公約をしておりますので。ただ国の動向が、小学校の負担分が決まったのか決まらないのか、部長。このあたりが微妙な、まあ選挙もありますので、これでどのような形になったというのも、まだ我々も情報としてはっきりした情報は。おそらくやると思いますが。そういうところも含めて今日は皆さんにご報

告をして、今後の形にしていきたいなと思っております。

○教育部長

今、市長からお話がありましたように、国もやっぱりこの給食費については非常に大事なことだということで、いくつかの学校の、高校の関係も、そういう風な想定をされていますので、報道の中では暫定予算とかを組んで、8年度の4月から小学校の給食費の支援ということの対応をしたいなという部分も出ているところではありますが、まずいかんせん今、選挙。具体的にどういうところかというのはまだちょっとわからないところで。

○市長

来年度の予算どうなるかはまだ今の状況わからないんで。非常に我々も運営する側としても厳しい。

○教育部長

具体的な事務的な部分も今ちょっと止まってしまっているような状態なので。

○市長

コロナ以降、改正をしなかった。保護者のこのアンケートにも出ていますけれども、ずっとコロナから上げていないので。保護者のポケットからお金が出ていないので、その意識がちょっと違うのかな。そして、選挙になると公約的には給食費の無償化というのは、どこの陣営も重要だと思って出しているものですから。

その辺りで、保護者が負担をしてるわけではありません。意識がちょっと低いのかなという気はしています。ただ、国が無償化に向けて、私どももやはりこの議論はきちっと今、現状は幾らなんだというところ。これから給食のあり方についてどうなんだということをしっかり議論しておくべきだということで、12月に私が就任してから、教育委員会の方でしっかり教育長中心にやっていただいたなというふうに思っていますので、皆さんの忌憚のないご意見をいただいて、今後に生かして参りたいと思っています。

○教育委員

ちょっと確認でいいですか。国の方はまだ暫定でよくわからないと思うんですけど、これ小学校だけですか。

○第一学校給食共同調理場長

そうですね、今回は。

○教育部長

中学校は引き続き協議していくという話が出ています。

○市長

ただそれは、私どもの方で中学校を無償化しておりますので、実質的な保護者の負担はありません。令和8年度は国からもらったお金をそこにあてるということで、もう議会の方にも説明をいたしておりますので。

○教育委員

ということは、今後、市が実質的に負担をしていくとしたら、園児と中学校は、補助していただけるということですか。

○市長

そういうことになります。小学校は国がやってくれるとしたらね。

○教育部長

園児は補助していません。保育所との兼ね合いがあって、平等ではなくなってしまうので。

○教育委員

では中学校だけ。なるほど、わかりました。

○市長

今、高いですからね、食材が。

○教育委員

結局食材が高いので、市の負担額がすごく増えているのに対し、保護者はそれを実感していないと思うんですね。ですから正規な値段はこのぐらいなんだというのはやっぱりきちんと提示していただいて、そしてそれを市が国とタイアップして無償化をしているんだという、そういう事実をきちんと保護者に浸透させることもすごく大事だと思いますね。私も教職員38年やって、神栖市以外に出ていないので。

そして、神栖市の給食というのはすごく恵まれた、素晴らしい給食を昔からやってます。そしてその上、値段が安いという。そういうものが、なにか当たり前のようになってしまっているの、やはり保護者にはきちんと、現実の物価高騰の上昇と給食費の値段というのはこういう状況なんだというのは、きちんとお知らせすべきじゃないかなと。市がこれだけ負担してくれているんだということを確認できるような、そういう体制づくりも大事なのかなと思いました。

○市長

今まで、コロナの時から給食費を無償化してしまったものですから。適正な価格、親の負担の価格のところとかを、どうせ市の方で全部持つからというようなところで、うちの教育委員会の方としても議論をしてこなかったというところに。ただここで、国

が負担をするからというところで、しっかり国からお金をもらわないといけないものですから。もらえるものはやっていくというところで、作業に入ってくれたので、いいかなと思ってます。

○教育長

市長、よろしいですか。先ほど、給食の運営会議を今年度3回開いているという話を紹介いただきましたけど、私も3回とも参加して、一番感じたのは、PTA代表、会長さん、副会長さんでしたが、給食の質を落とさないで欲しいという意見が強かったです。ですから、我々が、先ほど場長からあったように、最終的にこのぐらいでどうでしょうかという提示をした際も、少しあげて、100円でしたけど、デザートを増やしてやってくれないかというのが総意でした。

○市長

今度みんなで給食食べに行きましょう。私も食べに行きたいなと思っていました。議長の時代に一度だけ食べに行かせてもらったことがあったんです。学校に。ですから、今度はまた違う形で行きたいなと思っています。

○教育長

すみません、私も参加させてもらったのでそれを報告したいと思っていました。よろしくをお願いします。

○市長

それでは、本日は様々なご意見をいただきましてありがとうございます。大変有意義な話し合いができたのかなと思っています。

今後も引き続き、子供たちのために、給食の安全安心のために、事あるごとにお話をしていただければなというふうに思っております。本日の会議でいただいたご意見を参考に、教育委員会でも引き続きご検討の方をお願いしたいと思います。

次に、その他でございますが、委員の皆様から何かご意見等ございますでしょうか。

○第一学校給食共同調理場長

委員の皆様からなければ、事務局から一点よろしいでしょうか。

この度の改定によりまして、給食費がかなり上がるような印象を持たれる保護者の方もいらっしゃるかと思います。ただ、委員や市長からのご発言があった通り、給食費は上がるんですけど、8年度は無償化を継続するというところで、今後そういった勘違いが生じないように、保護者の皆様には丁寧にそういったお知らせをすることを考えてございますので、よろしくお願いいたします。

○市長

ありがとうございます。よろしくをお願いします。

それから私の方から一点。これは議会でもご報告をさせていただきました。

実は第一学校給食共同調理場の建て替えの件でございますが、実はこの2月に凶面がほぼほぼできて、令和8年度から入札だとか色々な手続きを取っていかうと思っておりました。しかし私が12月に市長に就任をして、やはり今の財政状況が非常に厳しくなってきました。先日、緊急行財政再建宣言もいたしました。じゃあ私、今、何をやるかということをおもってございまして、実はこの調理場が約40億円かかります。その他に、し尿処理場が約40億円、これから進めなければならない。今の財政状況の中でこの80億円の事業をしていくということは、非常に厳しいということをおもってございまして。実は、私が就任してわかったのは、この40億円の内訳なんです、建設が始まりますと、完成までに約15億円のキャッシュが必要です。5億円は、国からの補助金をいただきます。借金を20億円いたします。今私、何をやるかとしているかということ、この15億円の中、10億円くらいで、今の調理場を直せないか、延命措置ができないかということをお、当然、衛生的なものも全部クリアできるような状況でそれができないかというようなことを、まず調査をしてみたいと思っております。本来、この建設をやる前に、今の調理場が本当に延命措置ができないのかとか、直せないのかというところの議論をしておりました。従って、一度、議会の方にもお願いして予算をいただいて、そして調査をしていって、どうしてもこの建設をしなければならないのであれば、これは建設をしてみたい。しかし、ここ15年、20年ぐらいは直せば使える、衛生基準もすべてクリアできるというのであれば、私はそちらを選んでみたいと思っております。今日のこの会議と議論的には全く違うものですが、教育委員の皆様方には、このご報告をさせてもらっておきたいということで、今日お話をさせていただきました。今後も子供たちのために、私どもも一生懸命、いろいろと考えてやりますので、ぜひとも教育委員の皆様方にご尽力をいただきますことをお願いしたいと思います。

私からは以上でございます。

それでは、ないようですので、以上で令和7年度第2回、総合教育会議を閉会いたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。

**閉 会 10:35**